

新年を迎える頃になりました。
8回シリーズでお送りしています「高齢者の住い」の第三回目です。
今回は、「住み替えの判断基準」などを提供します。

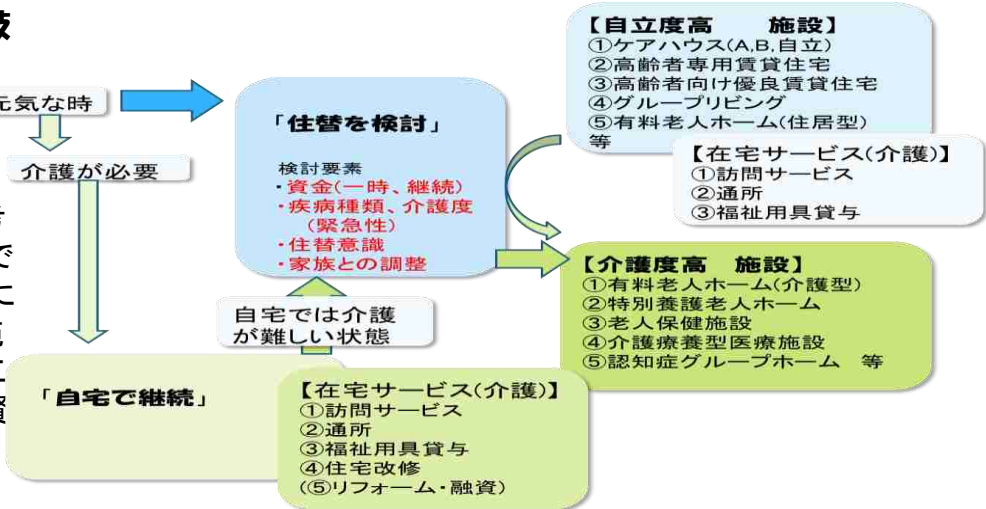
自宅で最期までと想定していても、一人暮らしになった際には面倒ですし、一番は寂しさです。
元気で判断能力があるうちに検討しておきたいものです。

安全な 住まい方	高齢期の生 活ステージ	住み替え の選択	有料老人 ホーム	高齢者 専用住宅	介護保 険施設	居宅 サービス	住替制 度と相談
-------------	----------------	-------------	-------------	-------------	------------	------------	-------------

① 住み替えの選択肢

右図は、住替を検討する物差しです。

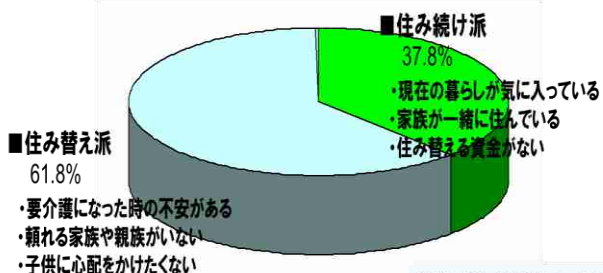
自宅を終の棲家と考えている人は圧倒的ですが、身体の状態等に合わせ、いろんな施設やサービスがあることを知っておくことが賢明でしょう。



② 住み替え派は何と62%

ある調査によると、そのまま自宅等で住み続けたい人は38%に対し、住み替え派は62%。(右グラフ)

また、住み替え先を判断するポイントは下記の5つを挙げることができます。ご自分の身体状態と手持ち資産資金等を考慮して選択することをお勧めします。



資料:シニアライフ情報センター '08/10月
50~80歳代男女471名

■住み替え先を判断する要点

- | | |
|------------|------------------|
| ①資金 | (一時金と月額 ⇄ 年金と貯蓄) |
| ②病的状態と介護体制 | (介護等受入体制) |
| ③親族・友人との距離 | (触れ合い時間) |
| ④入居先の雰囲気 | (職員の余裕、笑顔) |
| ⑤入居先の事業経営 | (健全経営とトップの考え) |

上記	ポイント
①	一時入居金が必要な施設の場合、現在持っている自己資産と照らし合わせる。また、毎月の生活資金は「年金」で賄うことを基本に設計することが望ましい。
②	本人の持病や疾病により、施設は大きく変わる。例えば糖尿病の場合、透析治療が必要だし、脳血管障害から認知症を併発することもある。また、術後の気管切開や経管栄養などを施してくれる施設選びもポイントになる。医療機関が近いことも選択肢
③	何といたっても、親族は心の触れ合いという面で精神的な支えとなる。触れ合いが持てる距離・時間の場所に住み替えるのもポイント
④	どんな施設も、トップの経営方針と職員の雰囲気によって異なる。すべての条件を満たすことは無理としても職員の表情から読み取れる感じのよい施設選びはポイント
⑤	経営破たんすることも充分あることを考慮して、トップの経営方針、部屋満床率(80%以上)など、各社が出している情報を比較確認する

●お問合せはこちらまで

info@kitawel.com
HK Welfare

北村 社会福祉士事務所(北村 弘之)
〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3-7-7
TEL:090-5340-0364 http://www.kitawel.com